

会期 2020年11月7日〔土〕
2021年1月24日〔日〕

会場 原爆の丸木美術館

〒355-0076 埼玉県東松山市下唐1-40-1
T 0493-22-3266 F 0493-24-8371
<https://marukigallery.jp/> info@marukigallery.jp



い V 内
ろ O 田
ろ I あ
の U ざ
の C り
聲 E
 S

Aguzi Uchida Voices

休館日 月曜日（月曜祝日の場合は翌平日）、年末年始（12月29日―1月3日）

開館時間 9時―17時（12月、2月は9時30分―16時30分）

観覧料 一般 900円、中高生または18歳未満 600円、小学生 400円

（比企・東松山在住者・チラシ持参は各通常料100円割引、障がい者は半額、60歳以上 800円）

主催 原爆の丸木美術館

助成 公益財団法人 花王芸術・科学財団、公益財団法人 朝日新聞文化財団

協力 武蔵野美術大学 美術館 図書館

このたび、原爆の図丸木美術館では、「内田あぐり VOICES いくつもの聲」を開催いたします。

丸木位里、丸木俊の共同制作「原爆の図」誕生から70年という節目に、現代日本画を代表する内田あぐりの展覧会を開催することになったのは、内田が近年、絵画素材・技法研究の活動を通じて、「原爆の図」や「沖繩戦の図」に関心を寄せ続けてきたことがきっかけです。とりわけ、位里が試みた水墨表現の実験性については、今日の作家へと受け継がれてきた表現の根幹を成すものとして強く共感しています。

また内田は、絵画において身体をテーマに人間存在の根源を探求し続けてきた画家であり、その眼差しは、位里と俊が積み重ねてきた絵画の主題にも通底しています。

今展では、導入部において、内田と位里、そして内田と俊の、それぞれの人間表現が呼応しあう展示空間を形成します。そして大展示室では、内田が本展のために制作した横8メートルに及ぶ新作を発表します。また、同じ空間に半世紀以上に描かれた位里の抽象性の高い絵画を配置します。

こうした試みは、時代を超えて受け継がれる画家の表現の系譜を再考し、多層的に響き合う芸術的な対話の可能性を示す機会になるでしょう。それは内田の絵画を歴史的な時間軸に位置づけると同時に、「原爆の図」をはじめとする位里と俊の絵画に再び命を吹き込み、今日的な解釈の可能性を拓くことでもあると考えています。

関連イベント…内田あぐりによるライブドローイングの動画配信を会期中に予定しています。詳細はウェブサイトでお知らせいたします。

ご案内・生命のアリズム 珠玉の日本画
 本展の会期中、神奈川県立近代美術館 葉山では「生命のアリズム 珠玉の日本画」(2020年10月10日-2020年12月20日)を開催しています。近・現代の日本画家たちの名品約60点を紹介。丸木位里の《松韻》(1965年)、丸木スマの《誓》(1955年)も展示され、新作も含めた内田あぐりの特集展示もあります。
 問い合わせ(電話)・046-875-2800



内田あぐり VOICES いくつもの聲

Akiri Uchida's Voices



広域マップ

バス利用マップ

市内循環バス時刻表(日祝運休)

丸木美術館東	8:45, 10:10, 11:10, 12:10, 14:30, 15:35	東松山駅東口
丸木美術館東	10:42, 11:42, 12:42, 15:02, 16:07, 17:32	丸木美術館東

交通

- 東武東上線 森林公園駅南口よりタクシー10分、徒歩50分
- 東武東上線 東松山駅より市内循環バス 唐子コース
- (日祝運休) 約15分「丸木美術館東」下車徒歩15分
- 関越自動車道 東松山インターより小川方面10分
- 東武東上線 つきのわ駅南口より徒歩27分

詳細は丸木美術館にお問い合わせ下さい

1..内田あぐり「[2020年]」1998年/38.0×54.0センチ/鉛筆、アクリル絵具、木炭、コンテ、紙/個人蔵/2
 内田あぐり「[2018年]」1972年/27.3×22.0センチ/岩絵具、墨、雲肌麻紙/武蔵野美術大学 美術館 図書館蔵
 3..内田あぐり「[河]」2018年/162.0×39.0センチ/岩絵具、墨、楮紙、紙、膠、雲肌麻紙、4..丸木位里「[想]」1966年/67.0×134.0センチ/紙本墨画彩色/丸木ひさ子氏蔵
 5..丸木位里「[人体デッサン]」1946年頃/94.6×28.0×37.0センチ/ペン、紙/丸木ひさ子氏蔵
 7..丸木俊「にんげん」3年「表紙原画」1973年/41.5×31.5センチ/コンテ、墨、水彩、紙/武蔵野美術大学 美術館 図書館蔵